



もっと知ろう！ガラスびん
 【第2回】ガラスびんの3Rを知ろう！




もっと知ろう！ガラスびん

第2回 ガラスびんの3Rを知ろう！




キッズ向けサイト
『びんの森』に
遊びにきてね！

ここから
アクセス！




ごみも資源も元から減らす“リデュース”、くり返し使う“リユース”、資源として再び利用する“リサイクル”の3R。ガラスびんではどのような3Rが行われているのか、くわしく見ていくよ。

うすく軽く！ガラスびんのリデュース




厚みをうすくして軽くすることが、ガラスびんのリデュースだよ。びんを軽くすると、使う原料が少なくて済む他、びんを作ったり運んだりするのに必要なエネルギーも節約でき、省資源と省エネルギーにこうけん。地球温暖化防止にもつながっているんだ。ただ、びんの厚みをうすくすると、割れやすくなるのでは？と心配になるかもしれないね。でも、ガラスびんを作る技術が進歩しているから大丈夫！軽くなっても強さが変わらないびんも登場しているよ。

洗って再利用！ガラスびんのリユース



ガラスびんは中身のおいや味が移らないため、使い終わった後に中をきちんと洗うと、何回もくり返し使うことができるんだ。このリユースの仕組みは、100年以上も前からあるんだよ。こういったくり返し使える牛乳びんやビールびん、お酒のびんなどを“リターナブルびん”といい、お店にもどすか、市町村で分別収集された後、どちらも洗びん工場できれいに洗われてから、びんづめ工場の中身が入れられ、商品として再びお店で販売されるよ。

びんからびんへ！ガラスびんのリサイクル



古くなったリターナブルびんや使い終わったびんは、市町村で回収、色分けされた後、カレット工場に運ばれ、くだかれてリサイクル原料の“カレット”になるんだ。カレットは新しいガラスびんの他、住宅用断熱材、道路の基礎や舗装道路などにも生まれ変わっているよ。ガラスびんは国内ですべてリサイクルされているんだ。

 **ガラスびん3R促進協議会**

公式サイトにはこちらからアクセス！